

# 西宮学 (第1学年 人文・社会科学コース) 2月3日(金)

## 地域の人と考える避難所経営

本校の人文・社会科学コースの生徒が学ぶ学校設定科目「西宮学」。2月3日の授業は市の防災啓発課の方々を講師に招き、学校直近の甲子園九番町自治会、鳴尾町二丁目自治会の12名といっしょに、災害時に備えて「避難所運営ゲーム(HUG)」に取り組みました。



災害時、本校は避難所となります。避難所の運営をカードゲーム方式で体験することがこの授業のねらいです。今年はこの授業に地域住民の方も参加していただき、生徒と意見を交換しながら、刻々と変わる状況への対応を考えました。

この日、震度6の直下型の地震が発生したという設定で開始し、5～6人のグループで実際の西宮東高校の図面や、体育館、会議室など避難所や福祉避難室に指定されている部屋に次々に押し寄せる避難民を振り分け、イベントへの対応を協議していきます。避難民は「妻が寝たきり」「ペット同伴」「親を亡くした幼児」など様々で、イベントでは、「受付の設置」や「マスコミ取材への対応」など難題も多い中、次々と配られるカードをさばっていきます。生徒の感想には「思ってもいないことに即時に対応するのは大変だ」「初動の大切さを痛感した」「地域の人々の運営、生徒の補助の図式は实际的で、よい訓練ができた」などと、来たるべき大災害への心構えが少し深まったようです。

